

第5期四谷地区協議会 平成26年度第1回 観光まちづくり実行委員会 会議録

開催日	平成26年6月16(月) 14:00~16:00		
会場	四谷特別出張所 会議室		
出席者	委員	6名	他 出張所職員1名
主なテーマ			
玉川上水冊子作り、まち歩きについて			
<p>主な協議内容</p> <p>1. 冊子作り、まち歩きについて(意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい冊子を作る。 ・水道局の資料を参考にする。 ・歴史については水道局の資料の抜粋である程度は作れる。 ・資料提供については、共同制作ということで水道局の了解をもらっている。 ・どれだけ疑問点を出せるか。当時を想像し、生活者の視点に立って考える。 ・資料を日本語で作成する。新宿在住の外国人と協力して外国語版も作る。 ・日本の水事情を伝え、自国と比較してもらう。 ・新宿通り沿いを歩き、それぞれの箇所の疑問点を実例を引き合いに出して説明する。 ・あとで歴博を見せてもよい。 ・湯屋横丁、石切り横丁の歴史も面白い。 ・玉川上水上流の話で冊子に紹介したい内容を集めたい。 ・スタート地点はインフォメーションセンター(新宿門)で、愚ぶ流れを歩く。 ・水番所では内藤新宿の話をする。大木戸を過ぎたら四谷の玉川上水の話をする。 ・江戸城に水が運ばれて、どのように使われていたのかを考える。 ・内藤町は町人のまち、四谷は役人と商人のまち、麴町は武家のまち、このような話を膨らますのもいい。 ・三菱鉛筆の碑にあるように、水車を使って、動力で何かを作る話を紹介すると面白い。 ・人も子供も水を大事にしてきた→水がない暮らし、衛生状態、飢餓状態、作物、下水(衛生管理)などを考える 			

2. 水道局との話

- 玉川上水の頃の水道技術が今の水道技術に影響があったか。
- 明治時代に海外から鉄管の水道が導入され、玉川上水の技術は一度リセットされる。
- 水道技術は躍進し、木碑、石碑から鉄管へと日本は近代化に向かう。
- 技術的な飛躍はあったが、もとにあった技術者精神活きている。
- 水道サミットで、歴史遺産にも触れたい

【次回以降の日程】

会議 7月7日(月) 14:00～ 四谷特別出張所会議室

まち歩き 6月21日(土) 玉川上水(四谷特別出張所1階入口付近 10時集合)